

■国内見学会報告■

恒例のSEC国内見学会は10月5日に行われました、今回の訪問地は新潟県上越市にある国際石油開発帝石㈱の直江津LNG受入基地建設事業所と中部電力㈱の上越火力発電所です。

上越市は南北に長い新潟県の南に位置し、上越新幹線越後湯沢駅よりほくほく線の特急列車でおよそ一時間の距離です。ちなみに新潟には、上越、中越、下越地方があり、京都に近い方から上、中、下と並んでいるそうです。直江津駅から貸切バスで15分ほど走ると、INPEXと書かれた大きなLNGタンク2基が、我々を迎えてくれました。



バスより望む直江津LNG基地と発電所



見学者集合写真

国際石油開発帝石㈱の直江津LNG基地は、国内市場に中長期的に十分な天然ガスの供給能力を確保する目的で上越市に建設し、海外で生産するLNGを受け入れ、既存の国内ガスパイプラインネットワークを通じて販売するガスサプライチェーンを構築する目的で建設されているとのこと。事務所で、総務グループの神田様より基地概要と、建設時のビデオにてご説明を受けました。大きなLNGタンクの屋根を空気圧で浮上させているビデオにはみな驚いた様子でした。その後バスで構内を案内いただき、実際のタンクの大きさに改めて感心しました。

(18万kLのLNGタンクは直径80m高さ50m)

事務所の外で記念撮影をしたのち、直江津LNG受入基地の平成26年の完工と工事の安全を願いつつ次の見学先である、中部電力㈱の上越火力発電所へ向かいました。

上越火力発電所は、長野方面の電力の安定供給や二酸化炭素の排出削減を目的に初めて、中部電力㈱の供給エリア外に建設した発電所であり、平成19年3月に着工、平成24年7月に1-1号機の営業運転を開始し平成26年に全ての設備を完成させる予定とのこと。事務所で総務課の宮沢様より基地概要と建設時のビデオにてご説明を受けたのち、2班に別れ、まず中央制御室と、タービン建屋を見学しました。日本最新鋭の火力発電所の中央制御室は非常にコンパクトで、運用開始後は常時4名体制で基地を運用するとうかがい驚きました。その後バスに乗りし基地内を回り、ガスタービン本体を見学させていただくことができました。ガスタービンは、非常にコンパクトであり1台で20万Kwの出力とのことでした。その後上越火力発電所の繁栄をお祈りしつつ、直江津駅の近くの懇親会会場に場所を移しました。会場では新潟上越の銘酒を飲

みなから、見学会の感想等意見交換に花を咲かせ、天候に恵まれた国内見学会を散会としました。

最後になりましたが、ご多忙中のところ快く見学を受け入れていただきました、国際石油開発帝石(株)と中部電力(株)のご両社に厚く御礼申し上げます。 (山田 記)